

Ⅱ 調査結果の分析

第1章 行政施策

1-1 施策の重要度・満足度の得点化

重要度1位は「消防・救急救命対策」、満足度1位は「四季のイベントの振興」。
「消防・救急救命対策」、「地域医療体制の充実」は重要度、満足度ともに高い。

問1 久留米市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、次の(1)～(33)の市の取り組みについておたずねします。

(A) あなたは、この取り組みがどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたは、この取り組みにどの程度満足していますか。

それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

33 項目の行政施策について、「どの程度重要だと思うか」、「どの程度満足しているか」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し分析を行った。

■重要度・満足度の得点化の手順

重要度	得点	満足度	得点
1. 重要	→ 6点	1. 満足	→ 6点
2. やや重要	→ 4点	2. やや満足	→ 4点
3. あまり重要でない	→ 2点	3. やや不満	→ 2点
4. 重要でない	→ 0点	4. 不満	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)	5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

重要度 (満足度) 得点	=	$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4 の回答者数})}$
--------------------	---	--



■表1-1 行政施策の重要度

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要でない』	わからない	重要度 得点	順位
(6) 消防・救急救命対策	93.0	1.2	5.0	5.57	1
(20) 地域医療体制の充実	93.7	2.4	3.2	5.50	2
(4) 生活排水処理の整備	90.5	2.8	5.9	5.46	3
(7) 防犯対策	93.4	2.4	3.3	5.40	4
(27) 労働・雇用対策	88.4	3.5	6.7	5.32	5
(2) 生活道路や側溝の整備	91.5	4.4	3.1	5.31	6
(9) ごみ処理対策	93.0	2.9	3.0	5.28	7
(22) 高齢者福祉の充実	88.3	3.6	7.3	5.27	8
(5) 防災対策	85.9	4.1	9.1	5.26	9
(11) バリアフリー化対策	88.0	5.8	5.7	5.04	10
(26) 農業振興対策	79.4	5.3	14.1	5.02	11
(17) 子育て支援体制の充実	81.8	6.1	10.6	5.00	12
(21) 障害者福祉の充実	82.8	4.6	11.6	4.99	13
(19) 健康づくり対策	87.3	6.3	5.5	4.98	14
(18) 青少年健全育成	82.7	5.8	10.1	4.97	15
(8) 環境美化対策	89.7	5.4	3.8	4.88	16
(30) 公共交通網の整備	83.3	9.1	6.5	4.87	17
(33) 行政改革の推進	70.7	7.6	19.4	4.84	18
(32) 市民と行政の協働によるまちづくりの推進	74.8	8.3	15.1	4.83	19
(24) 商工業振興対策	73.0	7.4	18.2	4.80	20
(3) 水辺空間の整備	79.2	10.1	9.8	4.74	21
(1) 四季のイベントの振興	78.2	10.0	10.8	4.73	22
(25) 企業の育成・誘致	69.3	10.7	18.6	4.69	23
(23) 広域幹線道路の整備	78.2	14.9	5.9	4.55	24
(10) 公園や広場の整備・充実	79.7	13.8	5.8	4.52	25
(12) 基本的人権確立施策の充実	62.1	15.7	21.0	4.31	26
(14) 市民自らが進めるまちづくり活動の振興	69.2	14.0	15.5	4.28	27
(28) 大学や研究機関の整備	60.3	16.5	21.3	4.20	28
(16) スポーツ・レクリエーション推進体制の充実	65.5	19.2	14.0	4.08	29
(29) 観光・コンベンションの振興	59.7	19.9	18.9	4.05	30
(13) 男女共同参画社会づくり施策の充実	56.6	19.7	22.1	3.99	31
(31) 高度情報都市づくり	56.4	21.1	21.3	3.95	32
(15) 文化芸術活動の支援・充実	56.5	22.8	18.7	3.85	33

重要度【平均値】
4.80

『重要』=「重要」+「やや重要」
『重要でない』=「あまり重要でない」+「重要でない」

●重要度得点は小数点以下第3位で四捨五入しているため同じ得点でも順位が変わることがある。

◆重要度得点の属性別特徴

【性別】全ての項目において女性の方が男性よりも重要度得点の値が高い。特に「(11)バリアフリー化対策」や「(5)防災対策」、「(15)文化芸術活動の支援・充実」でその差が大きい。

【年齢別】

・重要度得点は30歳代では「(20)地域医療体制の充実」、それ以外の年代では「(6)消防・救急救命対策」が第1位。続いて20歳代と60歳代以上では「(20)地域医療体制の充実」、30歳代で「(6)消防・救急救命対策」、40・50歳代で「(4)生活排水処理の整備」が第2位となっている。

・「(5)防災対策」は20歳代で、「(27)労働・雇用対策」や「(17)子育て支援体制の充実」は20・30歳代で重要度得点の順位が高い傾向にある。一方、「(25)企業の育成・誘致」や「(28)大学や研究機関の整備」などは高年齢層で比較的重要度得点が高い。

・「(30)公共交通網の整備」や「(33)行政改革の推進」は20歳代と70歳以上で重要度得点の順位が高い。

【ブロック別】

・東部A、中央東部では「(20)地域医療体制の充実」が、北部A、北部Bでは「(4)生活排水処理の整備」が、西部Aでは「(7)防犯対策」が、その他では「(6)消防・救急救命対策」がそれぞれ重要度1位。

・西部Bや東部Aは「(27)労働・雇用対策」の重要度得点の順位が3位と高い。

・北部Bや東部B、中央部などは「(5)防災対策」の重要度得点の順位が高い。

表1-2 行政施策の重要度(性別、年齢別、ブロック別)

(左列:重要度得点/右列:順位)

Table with columns: Project (項目), Overall (全体), Male (男性), Female (女性), Age Groups (20歳代 to 70歳以上), and Regional Divisions (東部A to 西部B). Rows list various administrative services like disaster relief, urban planning, and sports, with scores and ranks for each category.



■表1-3 行政施策の満足度

	回答者の割合(%)			満足度	
	『満足』	『不満』	わからない	満足度 得点	順位
(1) 四季のイベントの振興	63.2	10.7	22.2	4.19	1
(6) 消防・救急救命対策	49.1	18.6	28.2	3.72	2
(20) 地域医療体制の充実	56.6	23.4	16.3	3.71	3
(19) 健康づくり対策	50.4	22.6	22.7	3.53	4
(9) ごみ処理対策	54.6	26.1	15.8	3.52	5
(4) 生活排水処理の整備	50.8	28.7	17.1	3.44	6
(15) 文化芸術活動の支援・充実	32.2	17.3	45.9	3.34	7
(14) 市民自らが進めるまちづくり活動の振興	34.1	19.7	42.3	3.31	8
(8) 環境美化対策	48.9	29.3	17.3	3.28	9
(16) スポーツ・レクリエーション推進体制の充実	36.3	23.5	36.2	3.24	10
(3) 水辺空間の整備	45.4	28.3	22.3	3.22	11
(12) 基本的人権確立施策の充実	27.4	18.0	50.2	3.21	12
(10) 公園や広場の整備・充実	45.4	33.6	17.5	3.13	13
(21) 障害者福祉の充実	28.6	22.4	45.2	3.05	14
(13) 男女共同参画社会づくり施策の充実	25.0	19.8	50.8	3.05	15
(5) 防災対策	32.5	27.8	35.5	3.00	16
(28) 大学や研究機関の整備	23.2	21.3	50.2	2.93	17
(30) 公共交通網の整備	38.9	39.5	16.8	2.89	18
(31) 高度情報都市づくり	22.7	23.8	49.0	2.81	19
(17) 子育て支援体制の充実	29.7	30.5	35.4	2.81	20
(7) 防犯対策	37.8	40.9	17.3	2.80	21
(22) 高齢者福祉の充実	28.4	31.1	36.9	2.78	22
(2) 生活道路や側溝の整備	42.3	46.9	7.7	2.77	23
(23) 広域幹線道路の整備	37.9	41.0	17.1	2.76	24
(18) 青少年健全育成	27.5	29.8	38.0	2.75	25
(29) 観光・コンベンションの振興	21.6	28.2	45.3	2.62	26
(32) 市民と行政の協働によるまちづくりの推進	19.9	30.6	44.2	2.48	27
(11) バリアフリー化対策	29.1	45.8	21.7	2.39	28
(33) 行政改革の推進	17.2	30.5	46.4	2.31	29
(26) 農業振興対策	18.8	35.4	41.0	2.30	30
(25) 企業の育成・誘致	15.2	32.5	47.6	2.23	31
(24) 商工業振興対策	16.4	39.4	39.7	2.08	32
(27) 労働・雇用対策	17.1	51.0	27.4	1.89	33

満足度【平均値】
2.96

『満足』=「満足」+「やや満足」
『不満』=「やや不満」+「不満」
●『満足』『不満』『わからない』のうち、各項目で最も割合が高いものを太字で示している。
●満足度得点は小数点以下第3位で四捨五入しているため同じ得点でも順位が変わることがある。

◆満足度得点の属性別特徴

【性別】「(4)生活排水」、「(11)バリアフリー化対策」以外の全ての項目で女性の満足度得点が高く、特に「(23)広域幹線道路の整備」や「(29)観光・コンベンションの振興」、「(32)市民と行政の協働によるまちづくりの推進」などで女性と男性の差が大きい。

【年齢別】

- ・満足度得点の平均値は70歳以上、60歳代で得点化にあたっての中間点(3点)を超えているのに対し、40歳代では2.77と最も低い。
- ・「(19)健康づくり対策」や「(9)ごみ処理対策」では若年層の満足度得点順位は低い。一方、「(15)文化芸術活動の支援・充実」では若年層で5位と比較的順位が高い。
- ・20歳代で「(8)環境美化対策」(4位)、30歳代で「(14)市民自らが進めるまちづくり活動の振興」(4位)、50歳代で「(10)公園や広場の整備・充実」が他の年齢層と比較して順位が高い。

【ブロック別】

- ・満足度得点の平均値は中央南部と南西部で最も高く、北部Bで最も低い。
- ・満足度3位の「(20)地域医療体制の充実」は東部Bと西部Aでは11位、満足度6位の「(4)生活排水処理の整備」は東部Aと西部Aでは26位、西部Bで22位と満足度得点の順位が特に低い。
- ・西部Aでは「(16)スポーツ・レクリエーション推進体制の充実」が3位と高い。
- ・「(28)大学や研究機関の整備」は西部Aの5位に対して、北部Bでは29位と低い。また、「(30)公共交通網の整備」でも中央東部の5位に対して、西部Aでは33位と満足度得点の順位は最も低くなっている。



1-2 重要度・満足度の経年比較

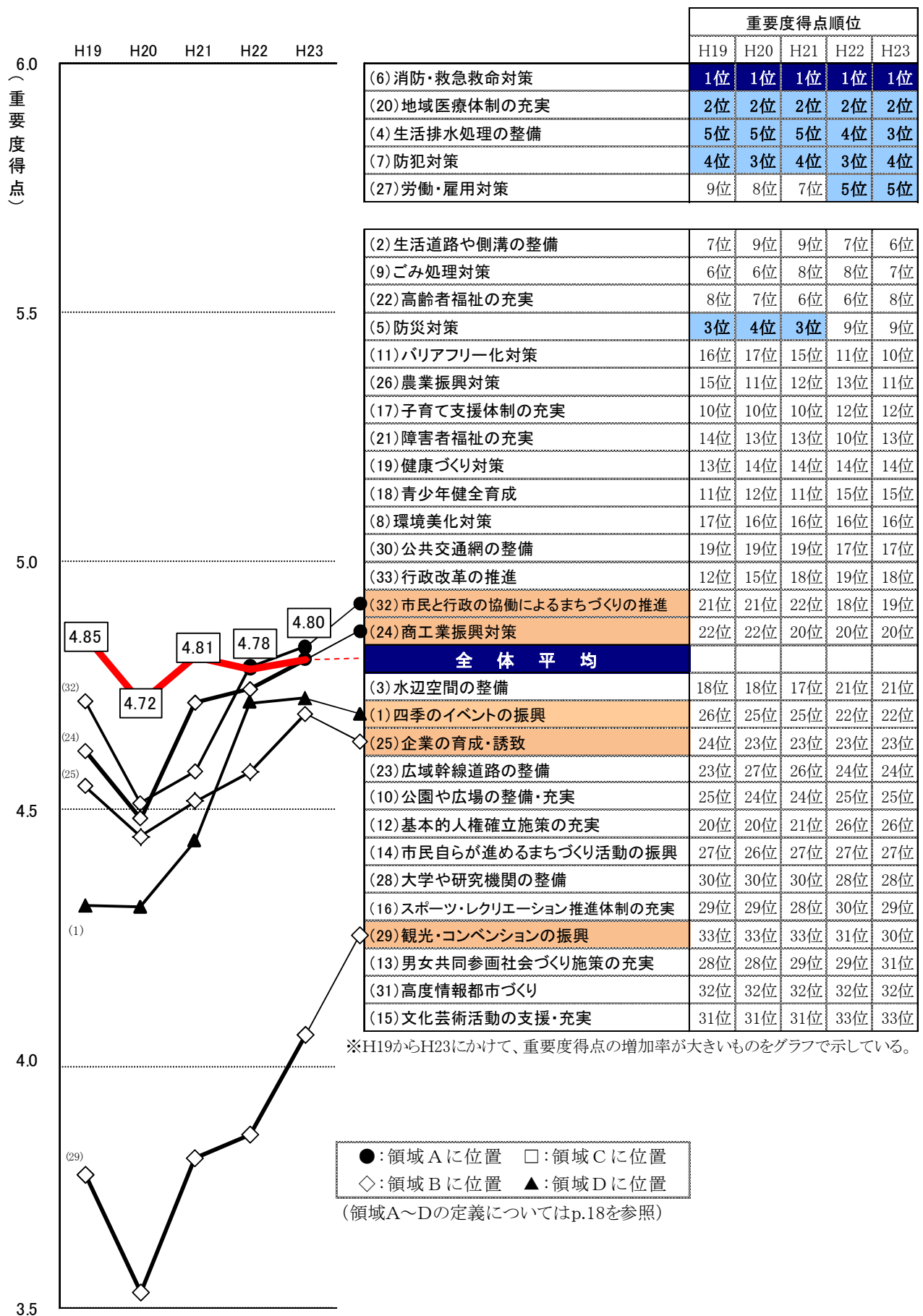
近年重要度が大きく上昇している「観光・コンベンションの振興」の満足度は減少傾向。
満足度1位の「四季のイベントの振興」は近年、重要度も大きく上昇している。
直近4年間で最も大きく満足度を下げたのは「防災対策」。

■表1-5 重要度得点・満足度得点の経年推移

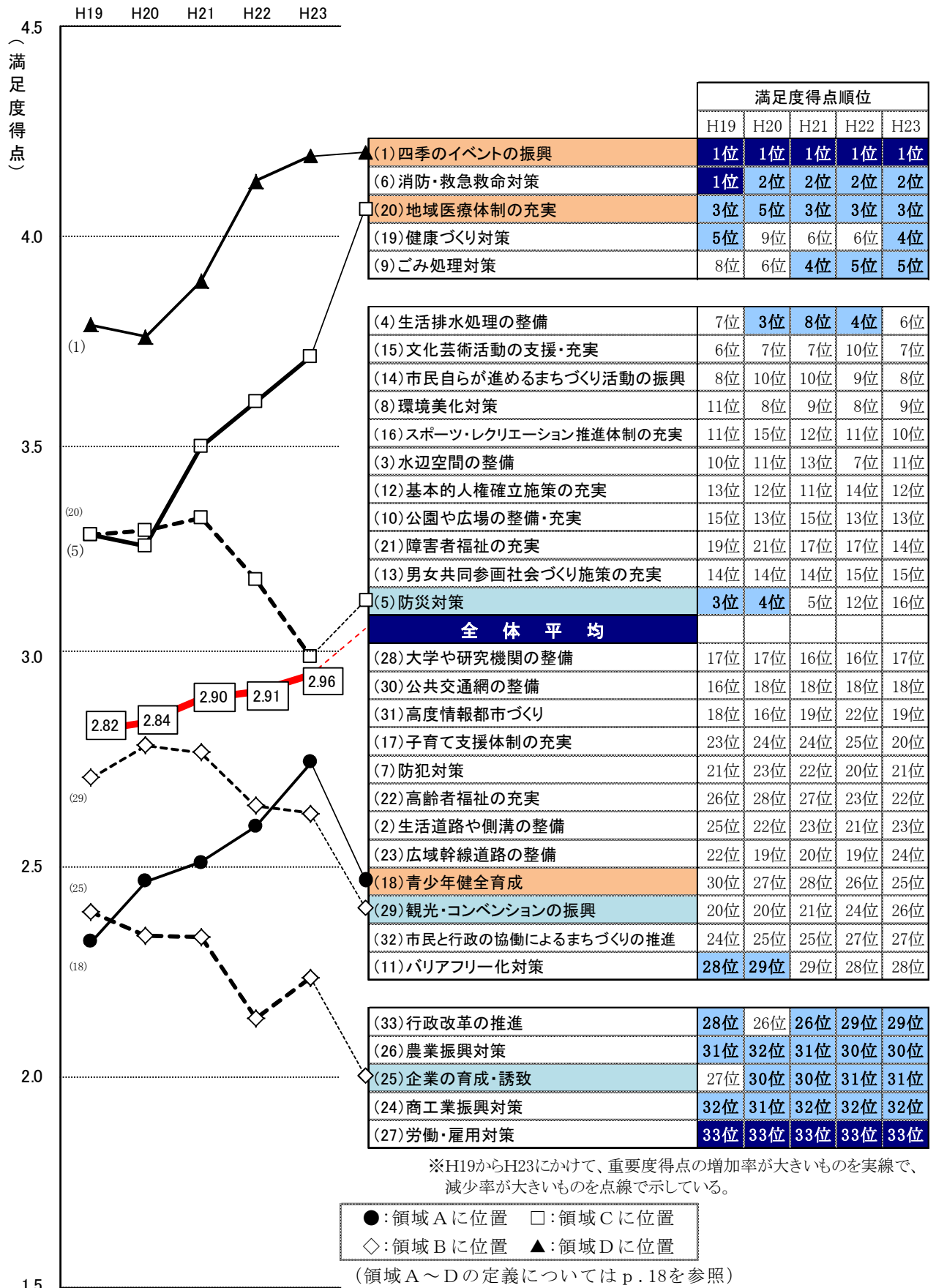
【重要度得点】の経年推移							【満足度得点】の経年推移					
H23	H22	H21	H20	H19	得点差 H23- H19		H23	H22	H21	H20	H19	得点差 H23- H19
4.73	4.72	4.44	4.31	4.31	0.42	(1) 四季のイベントの振興	4.19	4.13	3.89	3.76	3.79	0.40
5.31	5.37	5.27	5.20	5.39	-0.08	(2) 生活道路や側溝の整備	2.77	2.74	2.66	2.69	2.43	0.34
4.74	4.73	4.88	4.76	4.87	-0.13	(3) 水辺空間の整備	3.22	3.30	3.13	3.10	3.11	0.11
5.46	5.45	5.39	5.39	5.44	0.02	(4) 生活排水処理の整備	3.44	3.47	3.29	3.33	3.20	0.24
5.26	5.27	5.45	5.41	5.48	-0.22	(5) 防災対策	3.00	3.18	3.33	3.30	3.29	-0.29
5.57	5.63	5.64	5.63	5.68	-0.11	(6) 消防・救急救命対策	3.72	3.81	3.77	3.69	3.79	-0.07
5.40	5.46	5.44	5.44	5.47	-0.07	(7) 防犯対策	2.80	2.80	2.75	2.66	2.69	0.11
4.88	4.81	4.92	4.90	4.99	-0.11	(8) 環境美化対策	3.28	3.29	3.22	3.15	3.04	0.24
5.28	5.29	5.28	5.33	5.42	-0.14	(9) ごみ処理対策	3.52	3.44	3.39	3.22	3.15	0.37
4.52	4.55	4.51	4.40	4.47	0.05	(10) 公園や広場の整備・充実	3.13	3.13	3.01	2.99	2.95	0.18
5.04	5.03	4.98	4.84	5.00	0.04	(11) バリアフリー化対策	2.39	2.39	2.47	2.40	2.33	0.06
4.31	4.34	4.59	4.54	4.74	-0.43	(12) 基本的人権確立施策の充実	3.21	3.12	3.17	3.07	3.00	0.21
3.99	3.96	4.11	4.04	4.19	-0.20	(13) 男女共同参画社会づくり施策の充実	3.05	2.98	3.05	2.98	2.98	0.07
4.28	4.26	4.17	4.06	4.26	0.02	(14) 市民自らが進めるまちづくり活動の振興	3.31	3.23	3.21	3.12	3.15	0.16
3.85	3.73	3.90	3.81	3.94	-0.09	(15) 文化芸術活動の支援・充実	3.34	3.22	3.31	3.18	3.21	0.13
4.08	3.93	4.12	4.00	4.16	-0.08	(16) スポーツ・レクリエーション推進体制の充実	3.24	3.20	3.14	2.97	3.04	0.20
5.00	5.02	5.23	5.19	5.27	-0.27	(17) 子育て支援体制の充実	2.81	2.62	2.64	2.61	2.54	0.27
4.97	4.99	5.17	5.09	5.26	-0.29	(18) 青少年健全育成	2.75	2.59	2.51	2.46	2.32	0.43
4.98	5.00	5.04	4.96	5.15	-0.17	(19) 健康づくり対策	3.53	3.42	3.31	3.14	3.25	0.28
5.50	5.57	5.59	5.49	5.58	-0.08	(20) 地域医療体制の充実	3.71	3.61	3.50	3.26	3.29	0.42
4.99	5.04	5.07	5.00	5.12	-0.13	(21) 障害者福祉の充実	3.05	2.90	2.88	2.70	2.79	0.26
5.27	5.38	5.35	5.26	5.37	-0.10	(22) 高齢者福祉の充実	2.78	2.65	2.53	2.41	2.42	0.36
4.55	4.56	4.43	4.06	4.58	-0.03	(23) 広域幹線道路の整備	2.76	2.80	2.81	2.85	2.66	0.10
4.80	4.74	4.72	4.48	4.62	0.18	(24) 商工業振興対策	2.08	2.01	1.97	2.02	1.97	0.11
4.69	4.58	4.52	4.45	4.55	0.14	(25) 企業の育成・誘致	2.23	2.14	2.33	2.33	2.39	-0.16
5.02	5.00	5.10	5.18	5.08	-0.06	(26) 農業振興対策	2.30	2.34	2.18	1.93	2.31	-0.01
5.32	5.43	5.34	5.21	5.33	-0.01	(27) 労働・雇用対策	1.89	1.66	1.72	1.80	1.85	0.04
4.20	4.00	4.09	3.89	4.11	0.09	(28) 大学や研究機関の整備	2.93	2.93	2.92	2.89	2.90	0.03
4.05	3.85	3.80	3.53	3.77	0.28	(29) 観光・コンベンションの振興	2.62	2.64	2.77	2.79	2.71	-0.09
4.87	4.81	4.77	4.68	4.77	0.10	(30) 公共交通網の整備	2.89	2.88	2.89	2.89	2.91	-0.02
3.95	3.83	3.80	3.66	3.89	0.06	(31) 高度情報都市づくり	2.81	2.72	2.88	2.90	2.82	-0.01
4.83	4.79	4.58	4.51	4.72	0.11	(32) 市民と行政の協働によるまちづくりの推進	2.48	2.51	2.55	2.57	2.53	-0.05
4.84	4.76	4.87	4.93	5.16	-0.32	(33) 行政改革の推進	2.31	2.35	2.53	2.53	2.33	-0.02
4.80	4.78	4.81	4.72	4.85	-0.05	【全体平均】	2.96	2.91	2.90	2.84	2.82	0.13

※ 得点差では、重要度・満足度の上昇幅の大きいものを白抜きで、満足度の減少幅の大きいものを太字で示している。

■ 図1－1 重要度得点の経年推移



■図1-2 満足度得点の経年推移



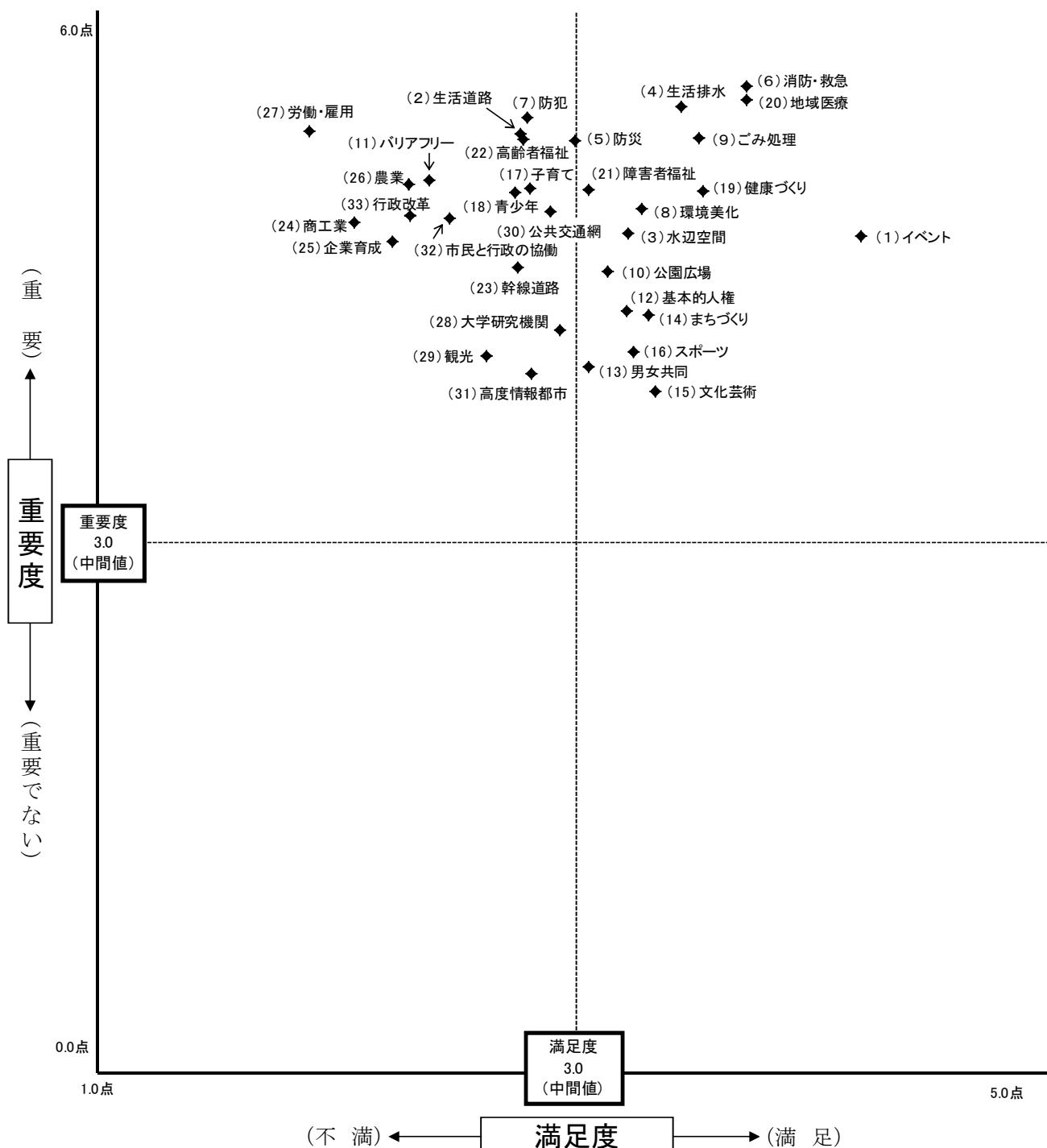
1-3 重要度・満足度のプロット図

33項目の重要度得点の全体平均は4.80で中間値(3.0)を大きく上回り、満足度得点の全体平均2.96は中間値をやや下回っている。

【領域A】(重要度が高く、満足度が低い項目)に12項目が該当。

各施策の重要度と満足度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、33項目を図示したのが図1-3である。重要度・満足度それぞれ中間値(3.0)を境界にして領域を4つに分けると、33項目はすべて重要度が中間値(3.0)を上まわるため、33項目はどれも散布図の上半分に位置している。

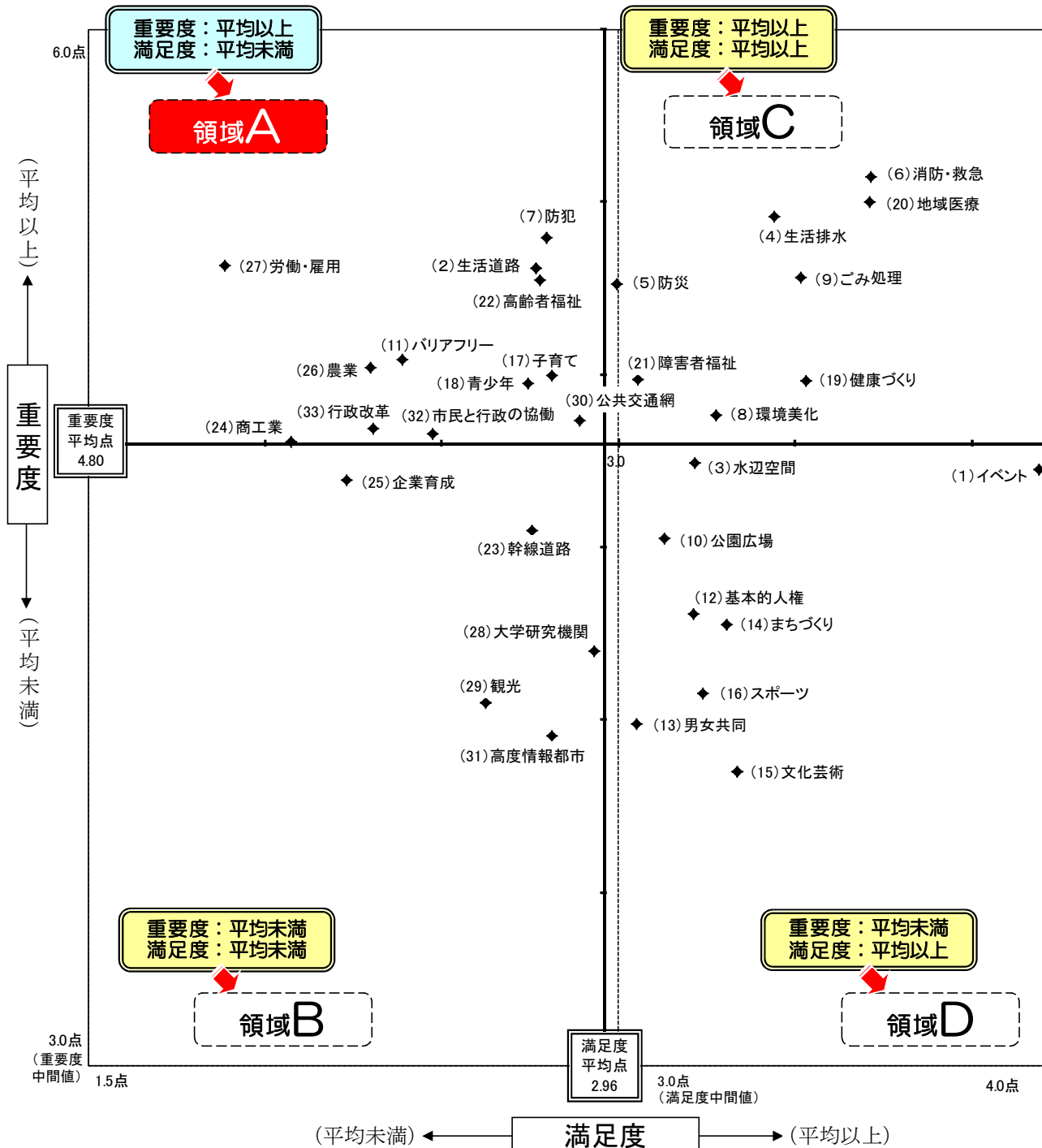
■図1-3 重要度・満足度のプロット図



重要度得点・満足度得点の平均値を境界として、A、B、C、Dの4つの領域に区分したプロット図を作成した。各領域に該当する項目には、次のような特徴が見いだせる。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度・高 満足度・低	今後改善の優先度が高い(行政的ニーズが大きい)。
	【領域B】	重要度・低 満足度・低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度をあげていく必要がある。
	【領域C】	重要度・高 満足度・高	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度・低 満足度・高	「わからない」と回答した場合は、得点計算の対象外となるため、重要度が平均未満となる項目が多い。今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。

■図1-4 重要度・満足度のプロット図(領域別)



■表1-6 行政施策の重要度×満足度

項目	重要度			満足度			重要度×満足度			
	重要度 得点	全体 平均 との差	順位	満足度 得点	全体 平均 との差	順位	H23	H22	H21	H20
(27)労働・雇用対策	5.32	0.51	5	1.89	▲1.07	33	A	A	A	A
(24)商工業振興対策	4.80	0.00	20	2.08	▲0.88	32	A	B	B	B
(26)農業振興対策	5.02	0.22	11	2.30	▲0.65	30	A	A	A	A
(11)バリアフリー化対策	5.04	0.24	10	2.39	▲0.57	28	A	A	A	A
(7)防犯対策	5.40	0.59	4	2.80	▲0.16	21	A	A	A	A
(2)生活道路や側溝の整備	5.31	0.50	6	2.77	▲0.19	23	A	A	A	A
(33)行政改革の推進	4.84	0.04	18	2.31	▲0.65	29	A	B	A	A
(22)高齢者福祉の充実	5.27	0.47	8	2.78	▲0.18	22	A	A	A	A
(32)市民と行政の協働によるまちづくりの推進	4.83	0.03	19	2.48	▲0.48	27	A	A	B	B
(18)青少年健全育成	4.97	0.17	15	2.75	▲0.21	25	A	A	A	A
(17)子育て支援体制の充実	5.00	0.19	12	2.81	▲0.14	20	A	A	A	A
(30)公共交通網の整備	4.87	0.06	17	2.89	▲0.06	18	A	A	B	D
(25)企業の育成・誘致	4.69	▲0.11	23	2.23	▲0.72	31	B	B	B	B
(23)広域幹線道路の整備	4.55	▲0.26	24	2.76	▲0.20	24	B	B	B	D
(29)観光・コンベンションの振興	4.05	▲0.75	30	2.62	▲0.33	26	B	B	B	B
(28)大学や研究機関の整備	4.20	▲0.60	28	2.93	▲0.02	17	B	D	D	D
(31)高度情報都市づくり	3.95	▲0.85	32	2.81	▲0.14	19	B	B	B	D
(5)防災対策	5.26	0.46	9	3.00	0.04	16	C	C	C	C
(4)生活排水処理の整備	5.46	0.65	3	3.44	0.49	6	C	C	C	C
(21)障害者福祉の充実	4.99	0.18	13	3.05	0.10	14	C	A	A	A
(6)消防・救急救命対策	5.57	0.77	1	3.72	0.76	2	C	C	C	C
(20)地域医療体制の充実	5.50	0.70	2	3.71	0.76	3	C	C	C	C
(9)ごみ処理対策	5.28	0.48	7	3.52	0.56	5	C	C	C	C
(8)環境美化対策	4.88	0.08	16	3.28	0.32	9	C	C	C	C
(19)健康づくり対策	4.98	0.18	14	3.53	0.58	4	C	C	C	C
(3)水辺空間の整備	4.74	▲0.06	21	3.22	0.26	11	D	D	C	C
(10)公園や広場の整備・充実	4.52	▲0.28	25	3.13	0.18	13	D	D	D	D
(12)基本的人権確立施策の充実	4.31	▲0.50	26	3.21	0.26	12	D	D	D	D
(14)市民自らが進めるまちづくり活動の振興	4.28	▲0.53	27	3.31	0.35	8	D	D	D	D
(13)男女共同参画社会づくり施策の充実	3.99	▲0.81	31	3.05	0.10	15	D	D	D	D
(16)スポーツ・レクリエーション推進体制の充実	4.08	▲0.73	29	3.24	0.29	10	D	D	D	D
(1)四季のイベントの振興	4.73	▲0.08	22	4.19	1.24	1	D	D	D	D
(15)文化芸術活動の支援・充実	3.85	▲0.95	33	3.34	0.38	7	D	D	D	D
【全体平均】	4.80			2.96						

《重要度×満足度》領域A:【重要度】平均以上【満足度】平均未満 領域B:【重要度】【満足度】ともに平均未満、
領域C:【重要度】【満足度】ともに平均以上 領域D:【重要度】平均未満【満足度】平均以上

《全体平均》 33施策の重要度得点、満足度得点をそれぞれ単純平均

なお4領域ごとに、散布図において重要度平均と満足度平均が交わった地点から遠いところにある順に並べている(前頁参照)。

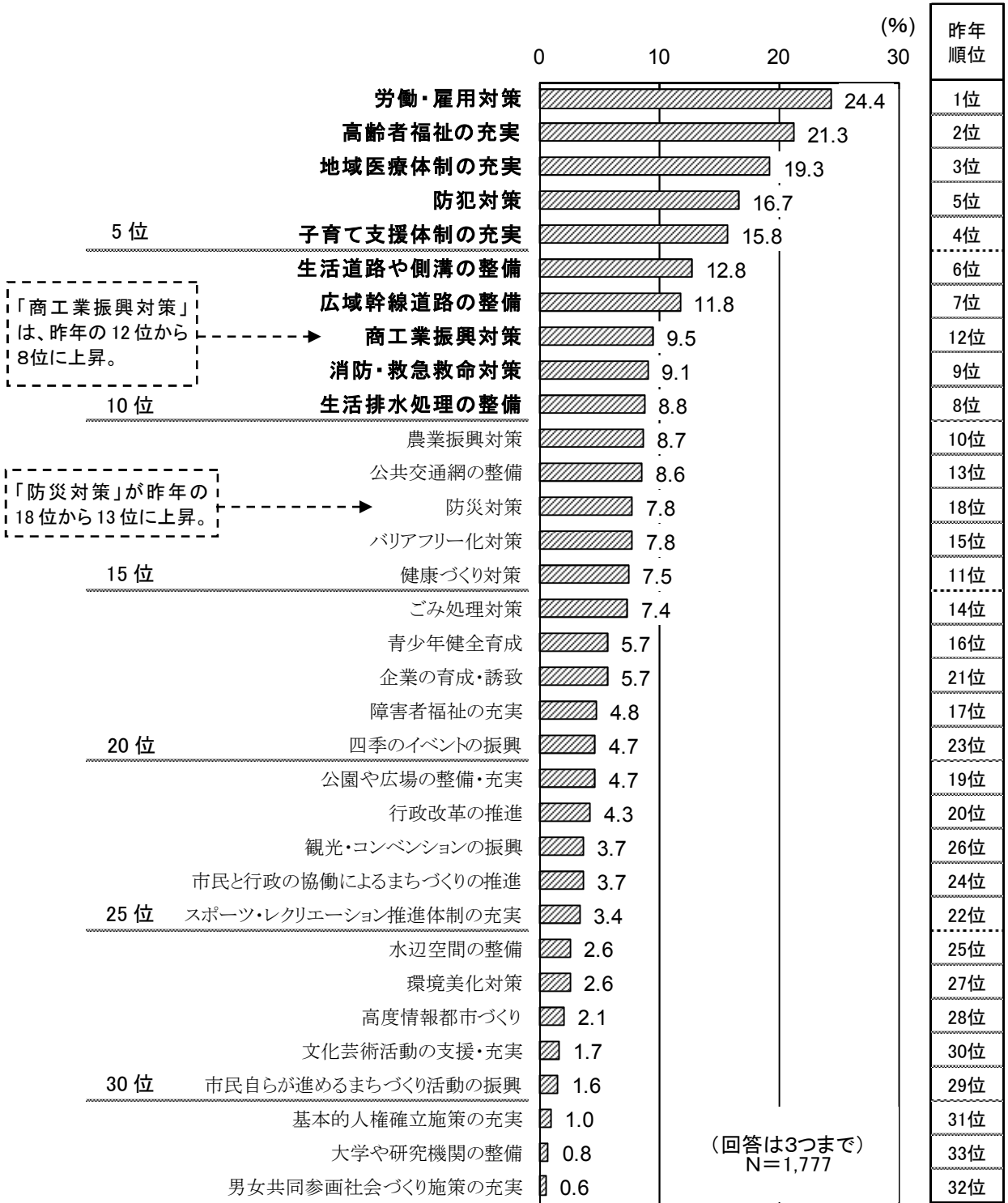


1-4 特に力を入れて欲しいもの

「労働・雇用対策」が昨年と同様第1位。

30歳代では「子育て支援体制の充実」が、北部Aでは「防犯対策」が1位となっている。

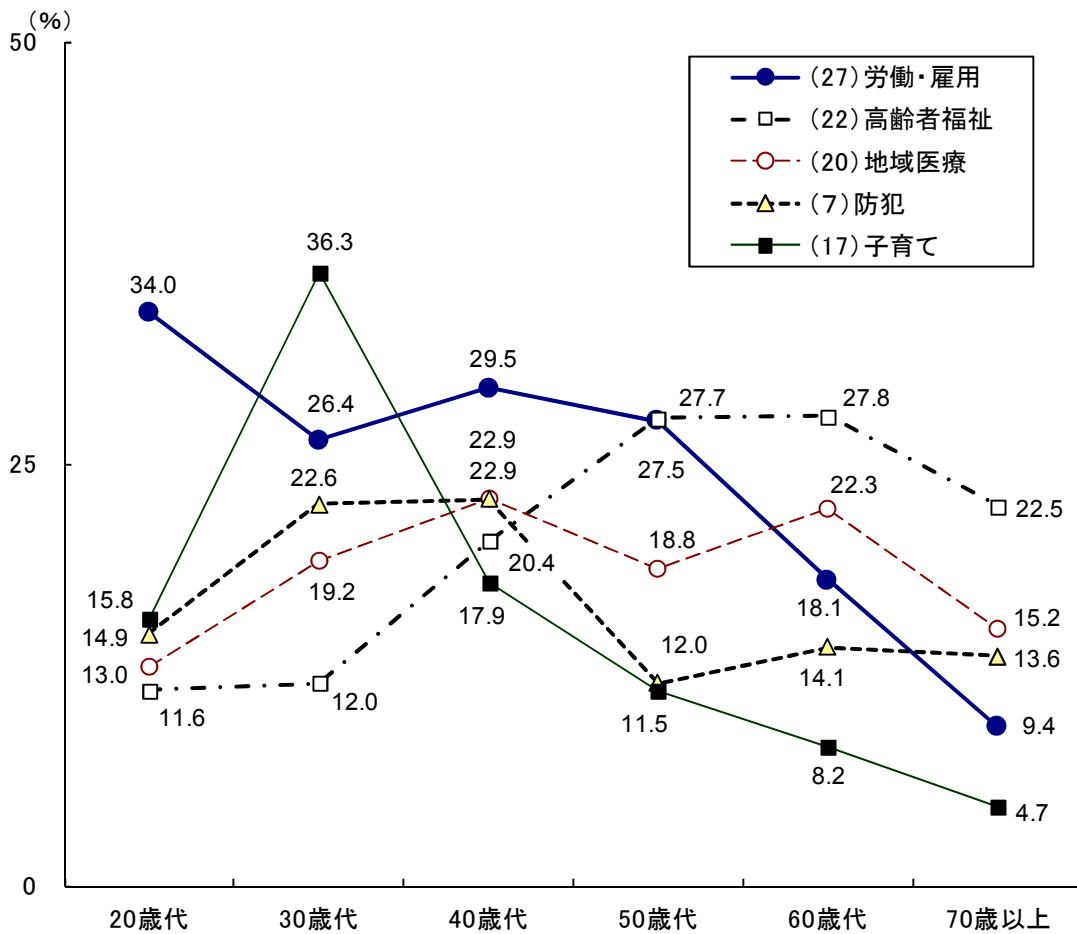
問2 問1で聞いた(1)～(33)の行政施策の中で、「特に力を入れて欲しいもの」を3つまで(2つ以内でも構いません)選び、その項目の番号を下の 内に記入してください。



■表1-8 性別にみた特に力を入れて欲しいもの(上位10位)

《男性》 (%)			《女性》 (%)		
第1位	(27)労働・雇用	22.5	第1位	(27)労働・雇用	26.0
第2位	(20)地域医療	17.2	第2位	(22)高齢者福祉	25.3
第3位	(22)高齢者福祉	16.7	第3位	(20)地域医療	21.1
第4位	(7)防犯	14.6	第4位	(17)子育て	18.7
第4位	(23)幹線道路	14.6	第5位	(7)防犯	18.5
第6位	(2)生活道路	13.2	第6位	(2)生活道路	12.4
第7位	(17)子育て	12.3	第7位	(19)健康づくり	9.5
第8位	(24)商工業	11.6	第8位	(11)バリアフリー	9.4
第9位	(6)消防・救急	10.3	第8位	(23)幹線道路	9.4
第10位	(4)生活排水	9.3	第8位	(26)農業	9.4

■図1-5 年齢別にみた特に力を入れて欲しいもの(上位5位)



考 察 — 行政施策の重要度・満足度 —

● 「労働・雇用対策」は「生活保障」にも関わる政策課題

「重要度得点」の平均値は【p.15】、平成19年4.85、20年4.72、21年4.81、22年4.78、23年4.80と推移しており、この5年間の平均値をみる限りあまり差異はないが、重要度得点5.00以上の項目数をみると、平成19年16、20年13、21年14、22年14であったものが、今回は12となっており、5年間で4減と「重要とされる行政施策」の一層の選別が進んでいる。

上位の10項目をみてみよう。「消防・救急救命対策」、「地域医療体制の充実」の2項目は、平成19年度から5年連続して1位、2位という高い順位を占めている。続く「生活排水処理の整備」と「防犯対策」の2項目は、順位は入れ代わってもこの5年間上位5位のなかに必ず入っているのに対し、「労働・雇用対策」は平成19年9位、20年8位、21年7位と順位を上げ、22年には「防災対策」に代わって5位に入り、今回も同じ順位である。「防災対策」は、平成19年3位、20年4位、21年3位と高い順位で推移してきたが、22年、23年は同じ9位になった。ただ、その重要度得点は、平成19年(5.48)から23年(5.26)まで、一貫して5.00から5.49までの数値帯に位置している。むしろ、市民の行政施策に関する重要度認識では、5.50以上の「消防・救急救命対策」、「地域医療体制の充実」の2項目をいわば別格の「特別重要施策」とし、5.00から5.49までの数値帯に属する項目はほとんど同じレベルの重要度と見なされていると考えた方が適切であろう。まさに、久留米市民のシビルミニマム(最低限度の市民生活基準)項目なのである。

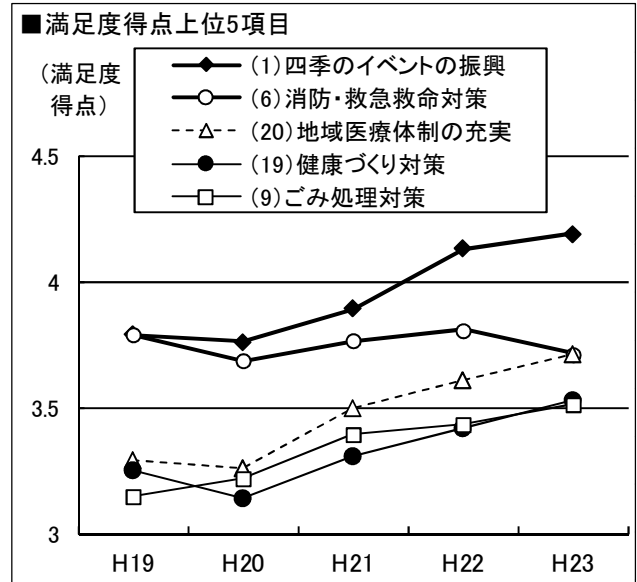
こうした市民の意識特性をみるために、上位10位(5.04以上)にランクされた項目(行政施策)を分野別に類型化してみると、「生命」分野に関わるものが「消防・救急救命対策」「地域医療体制の充実」「防犯対策」「防災対策」の4項目、「福祉」分野が「高齢者福祉の充実」「バリアフリー化対策」の2項目、「生活基盤」分野が「生活排水処理の整備」「生活道路や側溝の整備」「ごみ処理対策」の3項目となる。ここで重要なのが、「労働・雇用対策」の位置づけである。これまで「経済」分野と考えられてきた項目であるが、平成20年のリーマンショック以降、「非正規雇用」「不安定就労」「ニート」などが大きな社会問題になっており、上位項目の中でも上昇傾向にある「労働・雇用対策」のニーズは、最低限度の生活を営むための要件として「安定した雇用」が重視されるようになってきているという意味で、「生活保障」に関わる政策課題ともいえよう。国においては、これまで「就労支援」「失業対策」などの労働行政と「生活保護」などの社会保障とは別個の政策課題であったものが、平成23年には「生活保護世帯の急増」「生活保護費を下回る労働賃金」という現実の中で、両者が関連する政策課題として解決を迫られていることの反映でもある。

「農業振興対策」については、平成18年に16位、平成19年に15位だったものが20年に11位へ上昇して以来、一定の重要度を維持して推移している。同じ「経済」分野の20位「商工業振興対策」、23位「企業の育成・誘致」などと比べ、市民が農業振興を重視している調査結果からは、TPP問題など農業を取り巻く厳しい環境のなかで今後久留米市の農業をどのように振興していくか、その行政施策が注目される。

●満足度得点は近年平均値が上昇し、高い得点を示す項目が増加

「満足度得点」の平均値は【p.16】、平成19年2.82から23年2.96まで持続的に上昇しており、この5年間で0.14ポイント上がった。また、満足度得点3.50以上の項目数をみると、平成19年と20年は2項目、21年と22年は3項目であったものが、今回は5項目となっている。満足度については、平均値の上昇とあわせ高い得点項目の増加という2つの結果がみられる。

満足度得点3.50以上の5項目をみてみよう。1位の「四季のイベントの振興」は、平成19年からの5年間でみると連続してトップであるが、その得点を詳しくみると、平成19年の3.79から23年には4.19へと推移しており、平成22年を境に4.00以上という高い得点を示している。2位の「消防・救急救命対策」は、平成19年(3.79)から23年(3.72)まで、高い水準で安定的に推移している。3位の「地域医療体制の充実」は、平成21年を境に上昇している。今回初めて3.50以上の得点となったのが、4位「健康づくり対策」と5位「ごみ処理対策」の2項目で、ともに平成21年を境に上昇傾向にある。

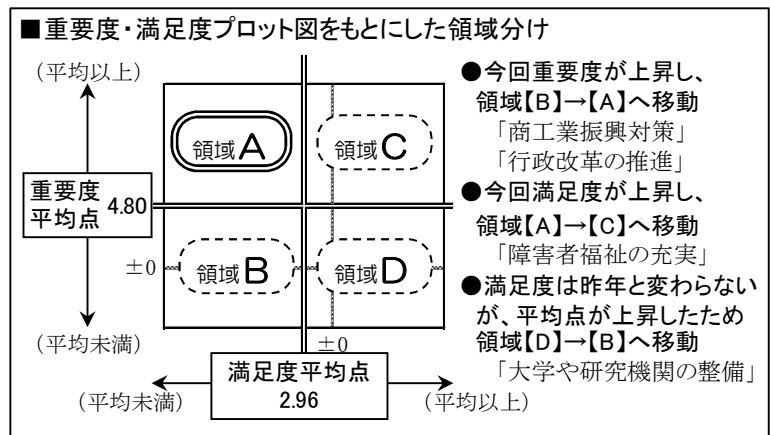


6位の「生活排水処理の整備」から10位の「スポーツ・レクリエーション推進体制の充実」までの5項目についても、小さな数値の変化の場合もあるが、数値に上昇傾向のステップアップ(新たな数値段階への移行)が確実にみられている。すなわち、上位の10項目に注目するかぎり、共通して満足度得点の上昇がみられることは、全体として平成21年ごろに「行政施策への満足度」に関する市民の意識状況に変化が現れ、これが平均値の上昇、高得点項目数の増加を生んだと考えることができる。

●「商工業振興対策」「行政改革の推進」は重要度が上昇し【領域A(重要度高/満足度低)]へ

市民の行政要望を的確に把握するため、重要度得点と満足度得点の平均値を境界として、A・B・C・Dの4つの領域に区分したプロット図(領域図)をみてみよう【p.18】。限られた予算をどのような優先順位で選択するか、行政には政策の計画・執行・評価に関わるプロセスの説明責任が問われている。一般的に優先されるべきは「領域A」、すなわち「市民の重要度認識は高いものの、現実には十分な満足度をみていない項目」である。

今回、領域Aに該当するのは12項目である。経年的にみて、領域A、B、C、D間で固定的なブロック化が認められるなかで、前回の結果と



の差異は、「商工業振興対策」及び「行政改革の推進」がBからAへ移動したことであるが、これはこの両者の重要度得点が境界（平均値）をまたぐかたちで上昇したことによる。また、従来領域Aに入っていた「障害者福祉の充実」は満足度得点が境界（平均値）を超えて上昇したことにより、領域Cへ移動している。

●課題や推進手法が見えにくい項目は、それほど「特に力を入れて欲しい」とは思われていない

「特に力を入れて欲しいもの」（力点施策）を3つまで尋ねた質問の結果をみてみよう【p.20】。前回に続き1位は「労働・雇用対策」、2位「高齢者福祉の充実」、3位「地域医療体制の充実」の順位は変わらない。今回、前回5位の「防犯対策」が4位、前回4位の「子育て支援体制の充実」が5位と入れ替わったが、この5項目が15%を超える高い比率である。重要度、満足度がともに平均より高い「地域医療体制の充実」を除けば、上位の4項目は重要度・満足度のプロット図の領域Aに区分されるグループとなっている。

同じように領域Aにグループ化された残り8項目についてみると、力点施策の6位「生活道路や側溝の整備」、8位「商工業振興対策」、11位「農業振興対策」、12位「公共交通網の整備」、14位「バリアフリー化対策」、17位「青少年健全育成」があがっている。20位より下の項目としては、22位「行政改革の推進」、24位「市民と行政の協働によるまちづくりの推進」の2項目が入っている。

ここで考えてみたいのは、「領域A」に区分される12の項目群と、「力点施策」ランキングとの関連である。同じ領域Aに区分される項目でも、「労働・雇用対策」「高齢者福祉の充実」のように社会問題として可視化されている項目は「特に力を入れて欲しい」と強く思われており、「行政改革の推進」「市民と行政の協働によるまちづくりの推進」のように課題や推進手法がなかなか見えにくい項目は、それほど「特に力を入れて欲しい」とは思われていない。特に、この2項目は、「まちづくりのキーワード」だけに、市民に対しどういう見せ方（市民啓発推進）、進め方（市民活動支援）を計画していくか、これもまた久留米市の課題である。

今回の久留米市民意識調査の結果からは、「労働・雇用対策」「高齢者福祉の充実」など、市民生活を支える枠組みについて、少子・高齢化が著しく進む地域社会、ますます疲弊する地域経済という困難な現実の中で行政主体としての久留米市が「生活と生命の安心」をどう保障していくかという課題が見えてくる。平成21年9月の政権交代から約2年が経過し、国レベルでは様々な政策再編が行われており、今後、久留米市の行政施策においてどのような新しい市民ニーズの変化を生むか、きわめて注目される場所である。